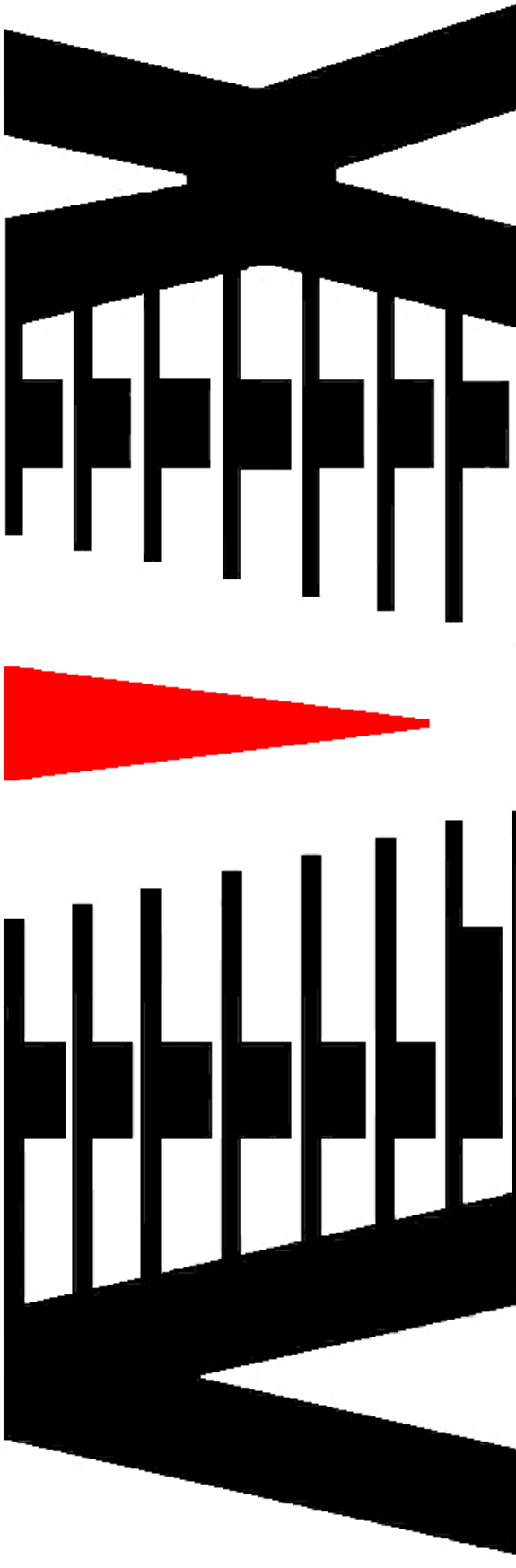
“アルビクス”共聴施設スーパー装置用オプション

・ＲＦバイパスユニット
・通信制御ユニット
・防滴キャビネット

取扱説明書

V0．0



御使用の前に必ず本取扱説明書をよく読んで理解して、安全の為の指示に従って下さい。
もし、不明点が有れば販売店か弊社におたずね下さい。

目　次

御使用上の注意事項　・・・・・　２

１．RF バイパスユニット　・・・・・　３

1.1. 主な機能と特徴　・・・・・　３
1.2. 仕様　・・・・・　３
1.3. 付属品　・・・・・　３
1.4. 各部の名称と機能　・・・・・　４
1.5. 設置手順　・・・・・　４

２．ルータ　・・・・・　５

2.1. 主な機能と特徴　・・・・・　５
2.2. 仕様　・・・・・　５
2.3. 付属品　・・・・・　５
2.4. 各部の名称と機能　・・・・・　６
2.5. 設置手順　・・・・・　７

３．防滴キャビネット　・・・・・　９

3.1. 主な機能と特徴　・・・・・　９
3.2. 仕様　・・・・・　９
3.3. 付属品　・・・・・　１０
3.4. 各部の名称と機能　・・・・・　１１
3.5. 組付け手順　・・・・・　１２
3.6. 内部配線　・・・・・　２０
3.7. 外部接続　・・・・・　２２
3.8. 保守点検　・・・・・　２３

御使用上の注意事項

必ずお守り下さい（安全にお使いいただくために）

警告

◇ 内部に液体をこぼしたり、燃え易い物や金属類を落としてはいけません。
（火災や感電、故障の原因となります。）

◇ 煙が出たり、異常音、臭気などに気が付いたときは、すぐに電源コードを抜いて販売店に御連絡下さい。

注意

◇ 電源プラグの接続が不完全なまま使用しない。
（感電やショート、火災の原因となります。）

◇ 電源コードを引っ張ったり、重いものをのせたりしない。
（電源コードが損傷し、火災や感電の原因となります。）

◇ 電源コードを引っ張ってコンセントから抜かない。
（感電やショート、火災の原因となります。）

◇ 仕様にて規定された電源電圧以外では使用しない。
（火災や感電の原因となります。）

お願い

◇ 風通しの悪い所に置いたり、布などで通風孔を塞いだりしないで下さい。
（故障の原因となります。）

◇ 次の様な所には置かないで下さい。
油煙や湯気の当たる所、直射日光の当たる所、熱器具の近く、
強い磁気のある所、極端に寒い所、極端に暑い所、激しい振動のある所、
安定しない台の上、傾いた所。
（故障の原因となります。）

1.RF バイパスユニット

1.1. 主な機能と特徴

◇共聴スーパー装置本体の電源と連動して、
ＲＦ信号をバイパスするリレーユニットです。

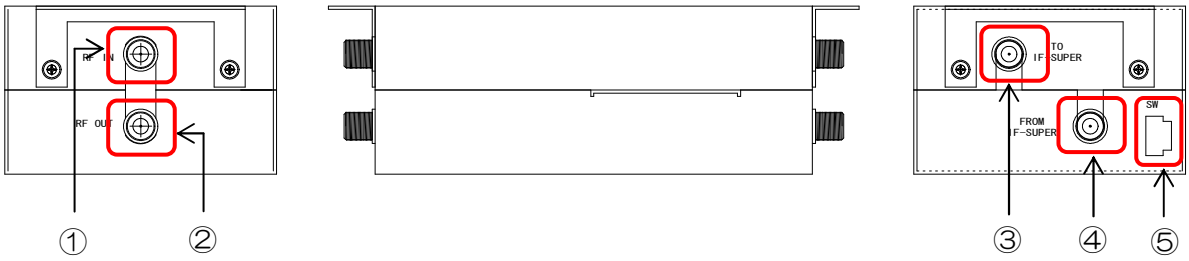
1.2. 仕様

アナログ テレビ信号	入力 COM	信号形式	ＲＦ
		接栓	Ｆコネクタ
	入力 N.O.	信号形式	ＲＦ
		接栓	Ｆコネクタ
	出力 COM	信号形式	ＲＦ
		接栓	Ｆコネクタ
	出力 N.O.	信号形式	ＲＦ
		接栓	Ｆコネクタ
電源		ＤＣ １２Ｖ	
		コネクタ	ＸＭＲ－０２Ｖ （日本圧着端子製造）
外形寸法		Ｗ８７×Ｈ５４×Ｄ１４０　（mm） （突起を含まず）	
重量		約　０．９　Ｋｇ	
使用温度		０℃　～　４０℃	

1.3. 付属品

① 電源ハーネス
② ＲＦケーブル　×２本
③ ＲＦバイパスユニット固定用ビス（バインドビス　Ｍ３×６）

1.4. 各部の名称と機能



①ＲＦ入力コネクタ（ＣＯＭ）
ＲＦ信号の入力コネクタです。
アンテナからのＲＦ信号を入力します。

②ＲＦ出力コネクタ（ＣＯＭ）
ＲＦ信号の出力コネクタです。
電源ＯＮで、共聴施設スーパー装置からのＲＦ信号を出力します。
電源ＯＦＦで、ＲＦ入力コネクタからの信号をバイパス出力します。

③ＲＦ出力コネクタ（Ｎ．Ｏ．）
ＲＦ信号のノーマルオープン出力コネクタです。
電源ＯＮで、共聴施設スーパー装置に対してＲＦ信号を出力します。
電源ＯＦＦでは無信号です。

④ＲＦ入力コネクタ（Ｎ．Ｏ．）
ＲＦ信号のノーマルオープン入力コネクタです。
電源ＯＮで、共聴施設スーパー装置からのＲＦ信号が入力されます。
電源ＯＦＦでは無信号です。

⑤ＤＣ入力
本機の電源入力（ＸＭＲ－０２Ｖ）です。付属の電源ハーネスでスーパー装置本体と接続します。

1.5. 設置手順

※１　ＲＦバイパスユニットの設置方法については、
「共聴施設スーパー装置取扱説明書」をご覧ください。

※２　防滴キャビネット内への設置については、本説明書の 3.5.3.章及び 3.6 章をご覧ください。

2.ルータ

2.1. 主な機能と特徴

◇共聴スーパー装置をインターネット経由で遠隔制御するための装置です。

◇携帯電話通信網を使用して本体をインターネットに接続しますので、
通信可能地域であれば遠隔から共聴スーパー装置の設定制御が可能です。

2.2. 仕様

機種名：ＳＥＩＬ／Ｘ１　［株式会社インターネットイニシアティブ（ＩＩＪ）製］

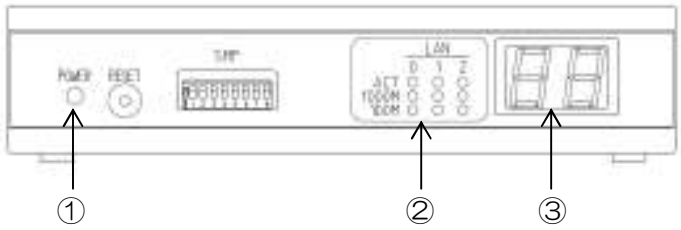
ＬＡＮ回線	１００ＢＡＳＥ－ＴＸ／１０ＢＡＳＥ－Ｔ対応 ×3ポート
拡張バス	ＵＳＢ２．０　×１ポート
電源	外部ＡＣアダプタ使用 １２Ｖ　２．５Ａ
外形寸法	Ｗ１６０×Ｈ３５×Ｄ１６０　（mm） （突起を含まず）
重量	約　０．８２　Ｋｇ （ＡＣアダプタ含まず）
使用温度	０℃　～　４０℃

2.3. 付属品

① ＡＣアダプタ
② ケーブル固定用タイラップ
③ ストレートケーブル
④ ＵＳＢケーブル
⑤ モバイル通信端末

2.4. 各部の名称と機能

2.4.1. 前面

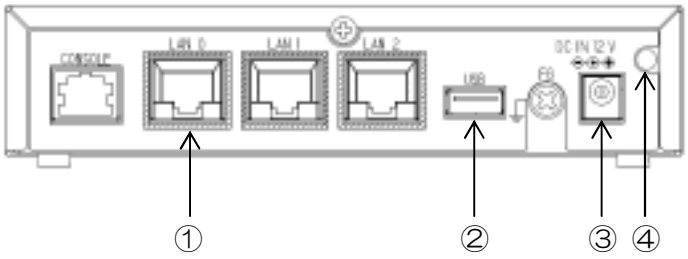


①POWER LED ランプ
電源投入時に点灯するＬＥＤランプです。

②ＬAN LED ランプ
ＬANの動作状態を表すＬＥＤランプです。

③ＳＴＡＴＵＳ ＬＥＤ ランプ
本機の動作状態を表す、小数点付き７セグメントＬＥＤランプです。

2.4.2. 背面



①ＬANO ポート
ＬAN 接続用ポートです。

②ＵＳＢ ポート
本機に対応したＵＳＢ 機器を接続します。

③電源コネクタ
ＡＣ アダプタを接続します。

④タイラップ固定穴
ケーブル固定タイラップを差し込んで固定するための穴です。

2.5. 設置手順

2.5.1. 準備

◇ケーブルの固定を行います。

1. 付属の電源ケーブルとＵＳＢケーブルを本機に接続します。
2. 付属のケーブル固定タイラップをタイラップ固定穴に差し込みます。

図 2.5.1

3. 電源ケーブルと、ＵＳＢケーブルをまとめます。

図 2.5.2

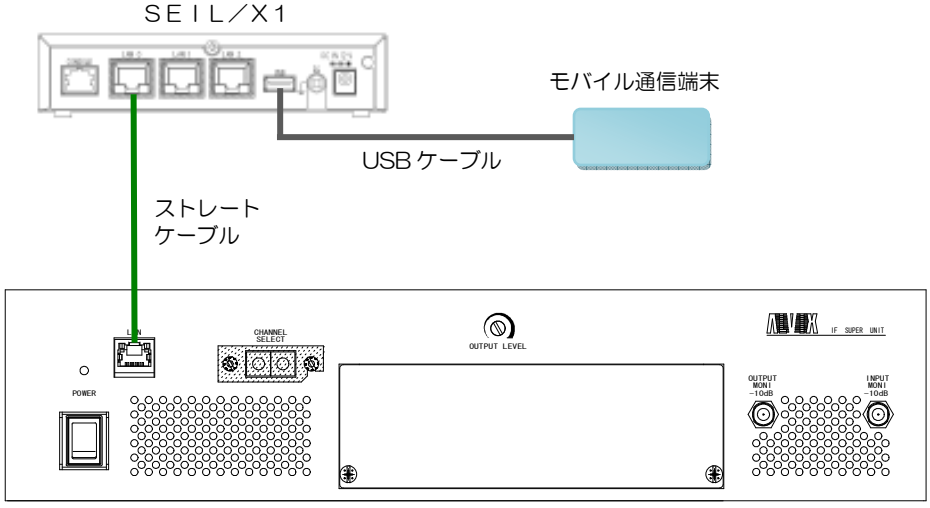
4. ケーブルに無理のかからない程度までひっぱります。

図 2.5.3

5. タイラップの余った部分はニッパで切断し、完成です。

2.5.2. 接続

1. 共聴施設スーパー装置と本機のＬＡＮ0をストレートケーブルで接続します。
   （ＬＡＮ1、ＬＡＮ2にはつながないでください。）
2. ルータとモバイル通信端末をＵＳＢケーブルで接続します。



スーパー装置　フロントパネル

図 2.5.4

2.5.3. 動作確認

1. ＡＣアダプタを接続し、電源を入れます。
2. ＰＯＷＥＲ ＬＥＤ ランプが点灯していることを確認してください。
3. フロントパネルのＬＡＮ0のＡＣＴが点灯していることを確認してください。
4. ３分程度待ち、ＳＴＡＴＵＳ ＬＥＤ ランプに“ｄ1”～“ｄ5”のいずれかが表示されたら正常です。

2.5.4. ＳＴＡＴＵＳ ＬＥＤ ランプの表示について

ネットワークに接続後、ＳＴＡＴＵＳ ＬＥＤ ランプに“ｄN”（Nは数値）と表示されます。
Nは電波強度を表しており、0は圏外、１が最も弱い、５が最も強いを表しています。

３分経過しても“ｄN”が表示されない場合、
モバイル通信端末が正しく接続されているか、確認してください。

※注意
ルータは出荷時に共聴施設スーパー装置と連動して動作するように設定されています。
フロントパネルのリセットスイッチやディップスイッチには触れないようにしてください。

3. 防滴キャビネット

必ず直射日光を避けて設置してください

3.1. 主な機能と特徴

◇換気扇付き屋外用防滴キャビネットです。

◇共聴スーパー装置本体、ＲＦバイパスユニット、通信制御ユニットを
内蔵できます。

◇キャビネットの設置は、寝かせて置くか、立たせて置くか選べます。

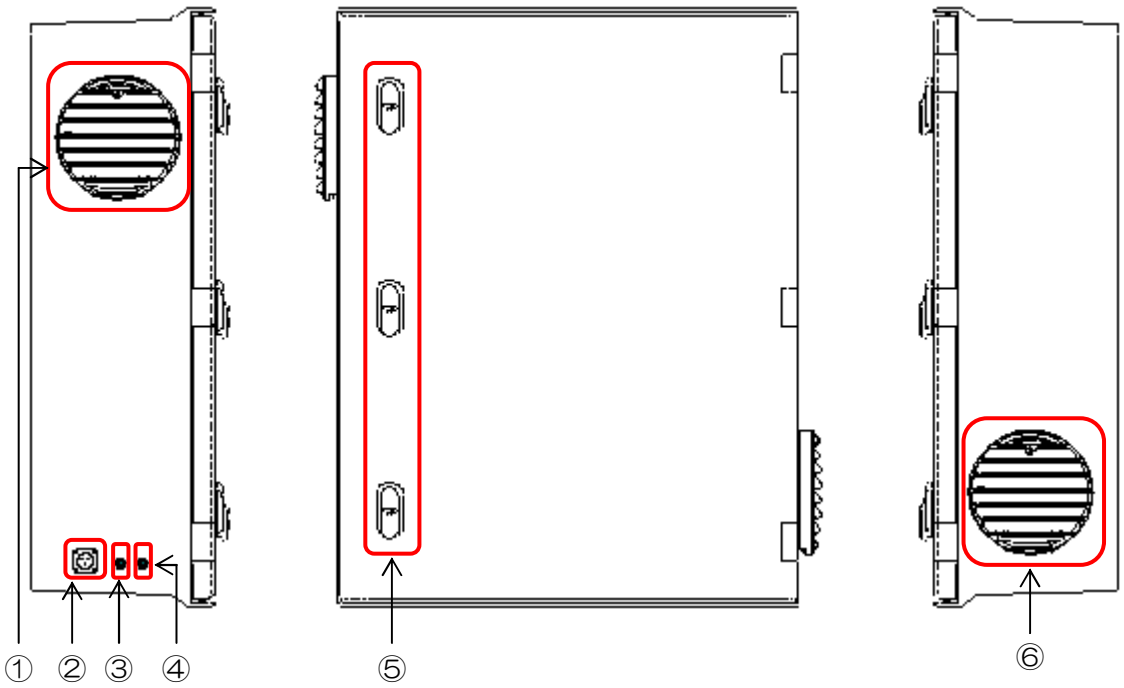
3.2. 仕様

アナログ テレビ信号	入力	信号形式	ＲＦ
		接栓	Ｆコネクタ
	出力	信号形式	ＲＦ
		接栓	Ｆコネクタ
電源		ＡＣ １００Ｖ	
		コネクタ	ＮＪＷ－１６３－RM （七星科学研究所）
外形寸法		Ｗ５００×Ｈ２００×Ｄ６５０　（mm）	
重量		約　１２　Ｋｇ	
使用温度		０℃　～　４０℃	

3.3. 付属品

① 防水コネクタ付電源ケーブル
② スーパー装置用電源ケーブル
③ ＲＦケーブル　×４
④ ＵＳＢケーブル
⑤ ストレートケーブル
⑥ インシュロック（大）×６
⑦ インシュロック（小）×５
⑧ ケーブル固定用タイラップ（ルータ用）
⑨ カギ（キーＮｏ．Ｎ２００）
⑩ ルーバー
⑪ ファン付きルーバー
⑫ スーパー装置用ラックイヤー　×２
⑬ スーパー装置固定金具
⑭ スーパー装置固定金具用ネジ
　バインドビス　Ｍ３×６　４本
⑮ スーパー装置ラックイヤー固定用ネジ
　バインドビス　Ｍ４×８　４本
⑯ キャビネット内ラック固定用ネジ
　バインドビス　Ｍ４×８　３本

3.4. 各部の名称と機能



①ファン付きルーバー
　　強制換気用のファン付きルーバーです。
　　共聴施設スーパー装置本体の電源と連動して動きます。
　　また、周囲温度２０℃以下でファンがＯＦＦします。

②ＡＣ入力
　　本機の電源入力（ＮＪＷ－１６３－ＲＭコネクタ）です。

③ＲＦ入力コネクタ
　　アナログテレビ信号を入力します。

④ＲＦ出力コネクタ
　　アナログテレビ信号を出力します。

⑤防水小型ハンドル
　　Ｎ２００番キー付のハンドルです。

⑥ルーバー
　　換気用ルーバーです。

3.5. 組付け手順

※全ての組付け作業は、キャビネットを寝かせた状態で行います。

3.5.1. ルーバー、ファン付きルーバー

- 各部名称

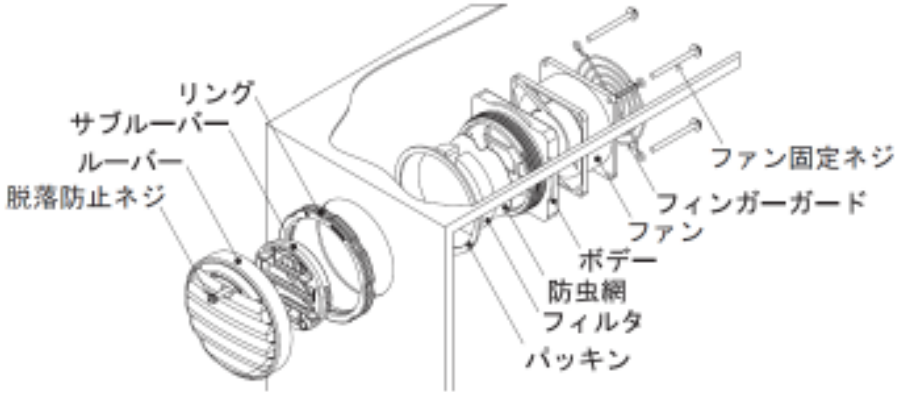


図 3.5.1

※ルーバーのみの場合、ファン、フィンガーガード、ファン固定ネジが付きません。

- 取り付け方向

キャビネットの設置状態によって、ルーバーを取付ける向きが変わります。
設置状態に合わせ、図 3.5.2 に従い、天地方向をお間違えの無いよう取り付けてください。

図 3.5.2

- 取り外し方法

1. 脱落防止ネジを緩めます。
2. ルーバーを左方向に回転させ、ルーバー、サブルーバーを外します。
   （ルーバー、サブルーバーは左方向に回転させると同時に外れます。）
3. キャビネットの蓋を開け、中板を持ち上げます。

図 3.5.3

4. リングを外すと、キャビネットからボデーを取り外せます。

図 3.5.4

- 取り付け方法

1. 取り付け方向を確認します。
2. キャビネットの蓋を開け、中板を持ち上げます。
3. リングをボデーに締め付け、キャビネットに確実に固定してください。

推奨締付トルク
15.0 [N・m]

図 3.5.5

4. 締め付けが不十分な場合、防水性能に影響しますので、リング締め付け後はルーバーにがたつきがないことを確認してください。ただし、ボデーが変形、破損する恐れがありますので、締め付けすぎにはご注意ください。
5. ルーバーをボデーに取り付けてください。左約４０度に傾けた状態から右方向に回転させると取り付けられます。

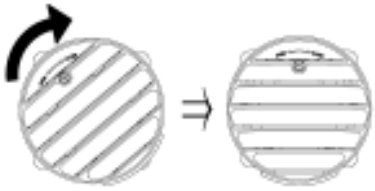
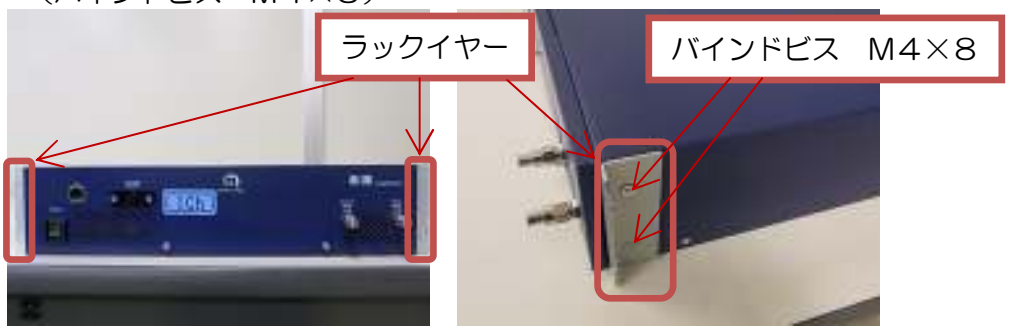


図 3.5.6

6. 脱落防止ネジを締め付けてください。（締付トルク：1.0[N・m]）

3.5.2. 共聴施設スーパー装置

1. 共聴施設スーパー装置本体にラックイヤーを取付けます。
   ラックイヤーの固定は、本体のネジをそのまま使用してください。
   （バインドビス　M４×８）



フロント　　サイド

図 3.5.7

2. キャビネットの蓋を開け、中板を持ち上げます。

図 3.5.8

3. スーパー装置本体を設置し、フロント側からラックイヤーを４箇所ネジ止めします。（バインドビス　M４×８）

図 3.5.9

4. 中板を元の位置に戻し、スーパー装置本体リア側をスーパー装置固定金具に２箇所ネジ止めします。（バインドビス　M３×６）
固定金具は、出荷時に中板に固定されていますが、状況に応じて付け外ししてください。（バインドビス　M３×６）

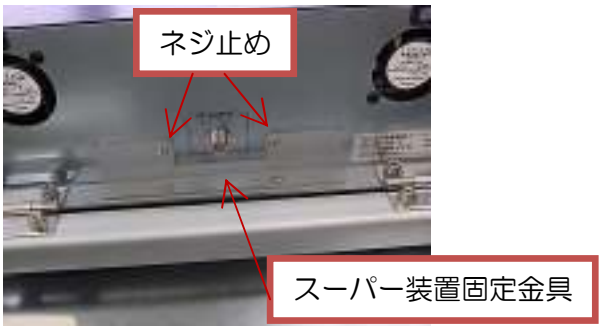


図 3.5.10

5. バンドをかけて、しっかり固定します。

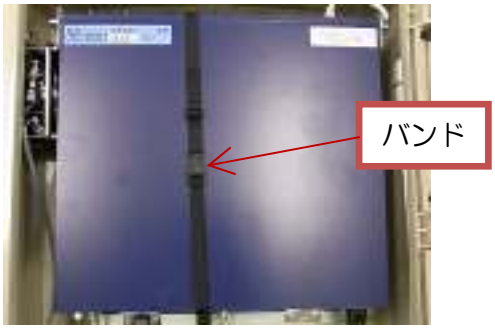


図 3.5.11

3.5.3. キャビネット内ラック

※ＲＦバイパスユニット、ルータ及びルータのＡＣアダプタは、ラックに取り付け後、防滴キャビネットに固定します。

1. ラックにＲＦバイパスユニットを取付けます。

(ア) 図 3.5.13 で示す位置に、ＲＦバイパスユニットを４箇所ネジ止めします。
ＲＦバイパスユニットを取付ける向きは、図 3.5.13 に従ってください。

図 3.5.12

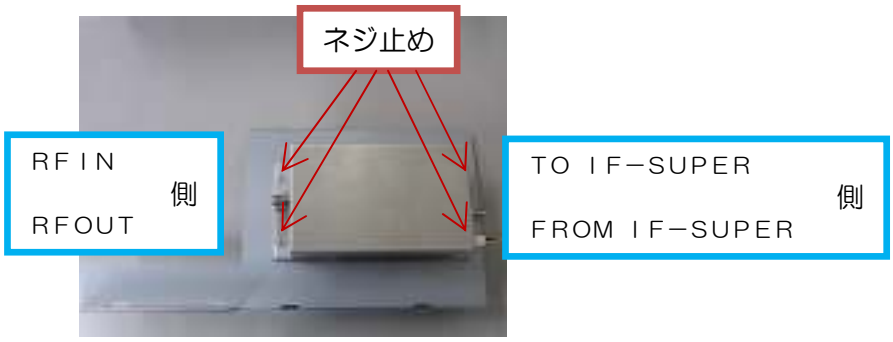


図 3.5.13

2. ラックにルータを取付けます。

(ア) 取り付けたＲＦバイパスユニットを下側にします。

(イ) ラックに図 3.5.14 のようにインシュロック（大）を６本通し、ルータ側は図 3.5.15 のように接続します。
インシュロックの向きは図 3.5.15 に従ってください。

図 3.5.14

ＡＣアダプタ側　　ルータ側

図 3.5.15

(ウ) ＡＣアダプタを図 3.5.16 のように設置します。ＡＣ入力側が端側になるように設置してください。

図 3.5.16

(エ) インシュロックをしっかりと引き締めてＡＣアダプタを固定してください。

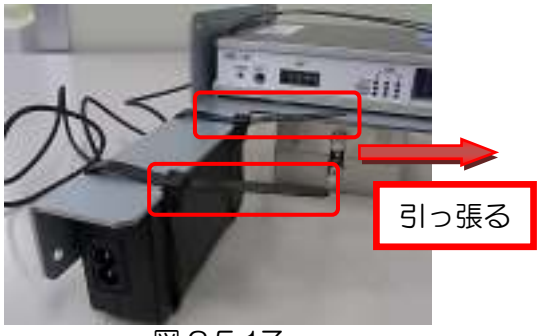


図 3.5.17

(オ) ルータを図 3.5.18 のように設置します。向きは図に従ってください。

図 3.5.18

(カ) インシュロックを、ルータの手前側、背面側共にしっかりと引き締め固定してください。

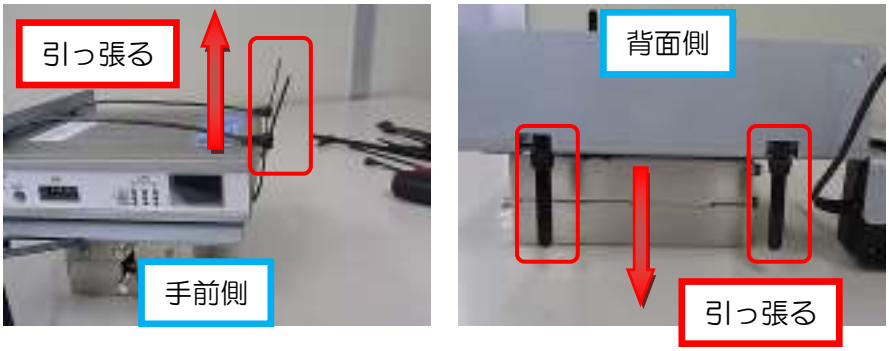


図 3.5.19

(キ) ルータとＡＣアダプタの固定が完了したら、ひっくり返し、
ＲＦバイパスユニット側を上に向け、ＡＣアダプタのケーブルを
マウントベースにインシュロック（小）でまとめます。

図 3.5.21

(ク) 防滴キャビネット付属のＵＳＢケーブルとルータの電源ケーブルを固定用タイラップでまとめてください。

図 3.5.22

3. 3.6.章　内部配線を参照し、ＲＦバイパスユニットに防滴キャビネット付属のＲＦケーブルを接続します。

4. ＲＦバイパスユニット付属の電源ハーネスでスーパー装置本体の１２Ｖ ＤＣとＲＦバイパスユニットのＳＷを接続します。

5. 図 3.5.23 のように、ラックを防滴キャビネットに取付けます。
３箇所ネジ止めしてください。（バインドビス　Ｍ４×８）

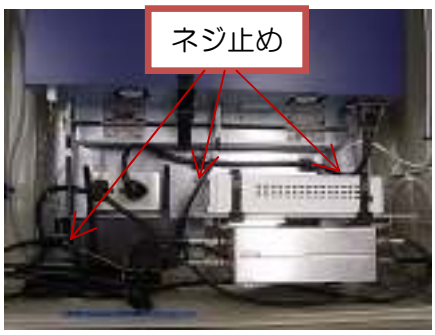


図 3.5.23

6. ＲＦバイパスユニットの電源ハーネスを、インシュロック（小）で図 3.5.24 のようにまとめます。

7. ＡＣアダプタのＡＣ入力ケーブルを図 3.5.24 のようにインシュロック（小）でまとめ、ＡＣアダプタとコンセントを接続します。

図 3.5.24

8. モバイル通信端末を図のようにＵＳＢケーブルに接続し、マウントベースとインシュロック（小）を２本使用し固定します。

図 3.5.25

3.6. 内部配線

3.6.1. 電源ライン

1. 防滴キャビネット付属の電源ケーブルで、スーパー装置本体とコンセントを接続します。

2. ファンモータの電源プラグを、スーパー装置本体のコンセントに差し込みます。

3. ルータのＡＣアダプタとコンセントを接続します。

4. スーパー装置本体の１２Ｖ ＤＣとＲＦバイパスユニットのＳＷを接続します。

3.6.2. ＲＦ信号ライン

1. ＲＦバイパスユニットと防滴キャビネット入出力コネクタを接続します。
   Ｆコネクタの色と、ＲＦバイパスユニットのシールの色が同じになるよう、接続します。

2. ＲＦバイパスユニットとスーパー装置本体を接続します。
   Ｆコネクタの色と、ＲＦバイパスユニットのシールの色が同じになるよう、接続します。
   スーパー装置本体側に接続されるコネクタはケーブルにタグが付いていますので、タグの示すコネクタに接続してください。

3.6.3. ルータ

1. 2.4.2.章と同様に、共聴施設スーパー装置と本機のＬＡＮ0をストレートケーブルで接続します。
   （ＬＡＮ1、ＬＡＮ2にはつながないでください。）

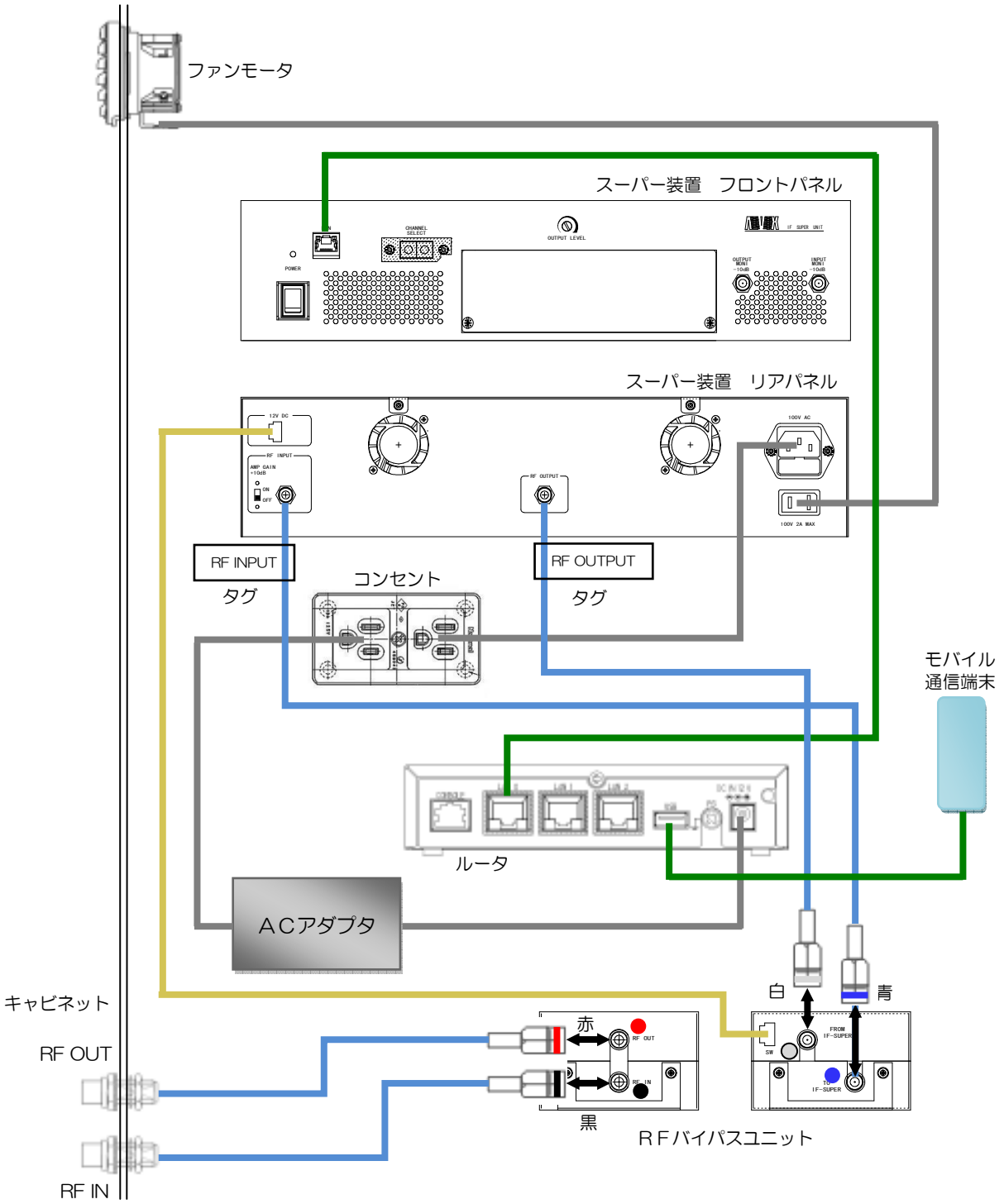

ファンモータ
スーパー装置　フロントパネル
スーパー装置　リアパネル
RF INPUT
タグ
コンセント
RF OUTPUT
タグ
モバイル
通信端末
ルータ
ＡＣアダプタ
キャビネット
RF OUT
RF IN
白
青
赤
黒
ＲＦバイパスユニット

図 3.6.1

3.7. 外部接続

1. 付属の防水コネクタ付電源ケーブルを防滴キャビネットのＡＣ入力に接続します。
2. アンテナからのＲＦ信号端子をＲＦ入力コネクタに接続します。
3. 受信施設へのＲＦ信号端子をＲＦ出力コネクタに接続します。
4. 共聴施設スーパー装置本体の電源を入れ、設置完了です。

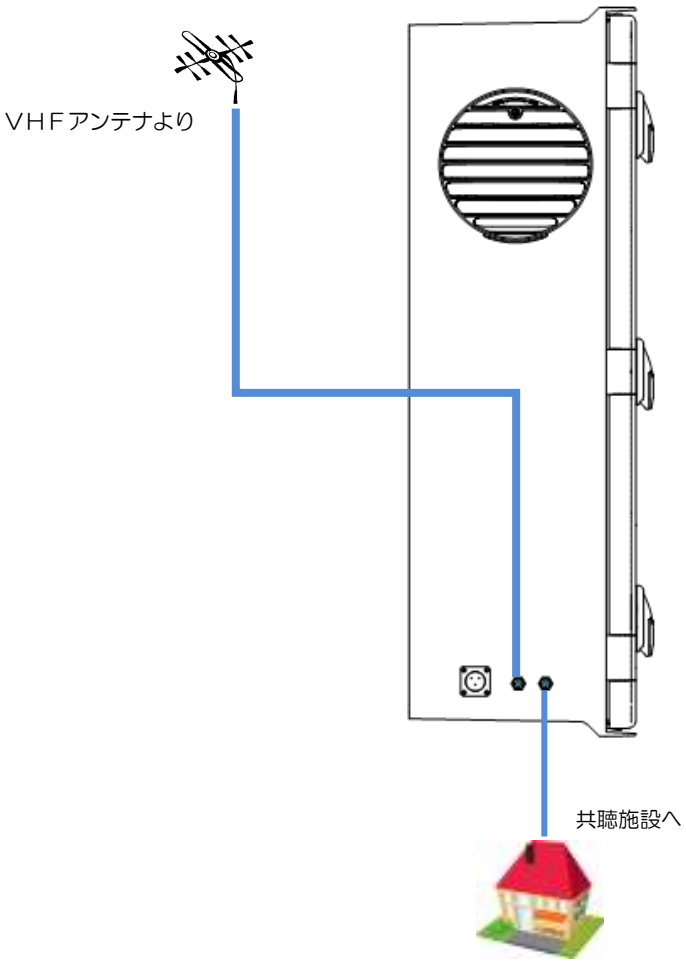


図 3.7.1

3.8. 保守点検

※ルーバーのフィルタは１ヶ月に１度以上は清掃を行ってください。

- フィルタ取り外し方法

  1. 脱落防止ネジを緩めます。
  2. ルーバー、サブルーバーを取り外すことにより、フィルタの取り外しが可能になります。

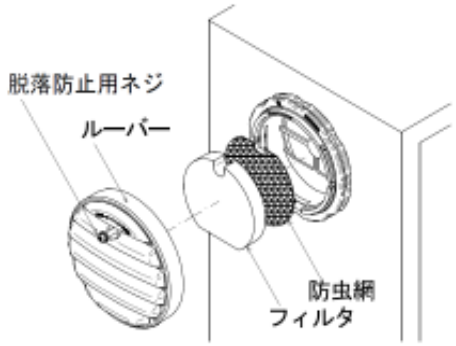


図 3.8.1

- フィルタ清掃方法

  ① 圧縮空気による吹き付け
  ② 掃除機による清掃
  ③ 水槽内での押し洗い
  中性洗剤を湯（４０℃程度）に５：９５の割合で薄めた液に一昼夜浸漬後、押し洗いをして清水によりすすぎ洗いをしてください。なお、洗浄後は自然乾燥を行ってください。

お問い合わせ先

お買い上げいただきました弊社製品についてのアフターサービスは、お買い上げの販売店におたずねください。
なお、販売店が不明の場合は弊社へお手数でもご連絡ください。

故障・保守サービスのお問い合わせは

販売店：

ＴＥＬ
担　当

製品の操作方法に関するお問い合わせは

無断転載禁止

アルビクス株式会社
〒９５９―０２１４
新潟県燕市吉田法花堂１９７４－１
ＴＥＬ：０２５６－９３－５０３５
ＦＡＸ：０２５６－９３－５０３８